



～笑顔あふれる
育ちのひろば～
令和8(2026)年2月2日
社会福祉法人 見真会
明光保育園

寒中お見舞い申し上げます

暖かいお正月でしたが、大寒の訪れとともに、海田の町にも真冬がやってきました。
それでも子どもたちは、風の子、寒さに負けず、元気に駆け回っています。

1月13日(日)には、インフルエンザの流行で延期していた幼児クラスの生活発表会を織田
幹雄スクエアで開催することができました。この間、保護者の皆さまにはインフルエンザなどの
感染防止にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

生活発表会では、子どもたちは、日ごろの園での活動を保護者の方々の
笑顔に包まれて歌や合奏、劇で表現することができ、誰もが達成感に包まれ
大きな成長の一步を刻むことができました。

今回の生活発表会は、子ども一人ひとりが主体的に作り上げることに重点
を置きました。各クラスの劇は、子どもたちが原作を理解し、みんなで創作
して明光保育園バージョンの奇想天外なストーリーや出演者・動物たちになり
ました。合唱や合奏でも歌う方法や楽器の演奏も子どもたちの自由で伸び
伸びとした発想や表現方法を大切にしました。



まだまだ、寒い中ですが、2月4日(水)は立春です。暖かい春がもうすぐやってきます！

2月8日(土)から週末には園内でクラスごとの創作作品展を順次開催していきます。

各クラスでは、共同製作の真っ最中です。ぜひ、ご家族でご覧ください。

・2月8日(土)、9日(日) 赤組、ひよこ組

・2月14日(土)、15日(日) 黄組、桃組

・2月21日(土)～23日(月) 白組、青組



また、12日(木)には白組学習支援参観・懇談会を、2月21日(土)には、乳児クラス(桃、
赤、ひよこ組)の生活発表会をそれぞれ織田幹雄スクエアで開催しますので、ご期待
ください。

今年も子どもたちの最善の利益を保障するため、保護者の方のご理解とご協力の下、子どもた
ち一人ひとりの個性や思いを尊重し、養護と教育が一体なったチーム保育を進め、多様な能力の
開拓、心豊かな育ちを全力で支援していきます。

4月に向けては、白組の子どもたちは小学校への入学を控え、青組からひよこくみの子どもた
ちはそれぞれ進級を迎えます。これまでの大きな育ちを更に次の大きな育ちにつなげていきます。



昨年10月の幼児クラス運動会では、戦後80年目に当たり「輝く平和な世界へはばたこう」

をテーマに鳩やハートの風船に平和への思いを込め、競技や表現活動に組み

ました。子どもたちは、仲間と話し合い、協力して挑戦し、高め合うことで、

一つひとつの課題を乗り越えた経験をとおり、仲間との絆を強め、自信を高め、

自己肯定感を育むことができました。



☆中国地方で最大震度5強の地震が発生☆

今年1月6日(火)10時18分ごろ島根県東部
を震源とする地震があり、広島でも震度4を観測！
保育園も大きく揺れました。子どもたちは落ち

着いて机の下などで体を守る姿勢をとって揺れが
収まるのを待ちました。その後、
みんなで集まって地震の怖さと自
分を守るための行動について話し
合いました。



ーサンタさんがやってきました！ー



12月24日(水)サンタさんが、
LaQや図鑑、折り紙の本、絵本、パズル、かるた、
お人形、ままごとセット、乳児の玩具などたくさん
のプレゼントを届けてくれました♪

子どもたちは、サンタさんの足跡を頼りに園内に
隠されたプレゼントを探しました。色とりどりの包
みを見付けは「何が入ってるんかね?」「開けて
もいい?」と大興奮でした。

みんなで仲良く遊びます。

サンタさんありがとう！



この冬も引き続き感染症対策を！

寒い季節に入り空気が乾燥して、鼻水や
咳、嘔吐、熱などの風邪症状の子どもたち
が増え、インフルエンザやノロウイルスに
よる集団感染の危険性も高まってきます。

子どもひとりの命と健康を守るためには、
感染症にかからない、うつさない・うつら
ないことが重要です。

お子さんの体調管理に十分努めていた
くとともに、いつもと違うときには、早め
の医療機関の受診と登園の自粛について、
ご理解とご協力をお願いします。

令和8(2026)年の干支(えと)
は60年ぶりの丙午(ひのえうま)



丙(ひのえ)は、
陰陽五行説では火の陽に
当たり「明るい」や「活発」
「華やか」などの太陽や火の力を
象徴しています。

午(うま)は、「スピード」や
「行動力」「社交性」「勢いや力
強さ」を意味します。

何か新しい事にチャレンジし、
勢いある素敵な年にしましょう！！

～初詣にも行きました～

1月7日(水)白、青、黄、桃組は
おめでとうの会の後、熊野神社へ
初詣に行きました。氏神様に昨年の感謝
を伝え、今年もみんなが笑顔で元気に
大きくなれるようお願いしました。

初詣の帰りに、一貫田公園
で春の七草を摘んで七草がゆに
してもらって食べました。



日	月	火	水	木	金	土
2月1日 如月(きさらぎ) 休日保育	2 	3 節分のついで 誕生日会 調整会議	4 立春 体操のひろば (白・桃組) 幼児会議	5 海田南小学校 入学説明会	乳児会議	7 赤・ひよこ組 作品展
8 赤・ひよこ組 作品展 休日保育	9	10 体操のひろば (青・黄組)	11 建国記念の日 休日保育	12 白組学習支援参 観・懇談会	13	14 黄・桃組 作品展
15 黄・桃組 作品展 休日保育	16	17 体操のひろば (白・桃組)	18 乳児発表会練習	19 雨水 避難訓練 (火災)	20	21 乳児発表会 白・青組作品展
22 白・青組作品展 休日保育	23 天皇誕生日 休日保育	24 体操のひろば (青・黄組)	25	26 茶道のひろば (白組)	27	28
3月1日 弥生(やよい) 休日保育	2 	3 ひな祭り会 誕生日会	4 体操のひろば (白・桃組)	5 啓蟄 	6	7



とらまる人形劇
人権啓発活動

子どもの姿と子どもの育ち（園児101人）

～笑顔あふれ、元気に育つ～ ひよこ組

【0歳児 9人】担任:金井

多くの子どもが満1歳を迎えて、職員との愛着関係の下で園の生活リズムや回りの子どもたちにも慣れ、一人ひとりが思い思いに体を動かし、見て、聞いて、触って、なめて、匂って、喜んで、泣いて、食べて、寝て、出して、大きく成長しています。今では身振り手振に加えて、言葉でも自分の思いを伝えることができるようになってきています。

子どもたちは、保育士が「今日は外で遊ぼうね」と言うと嬉しそうな表情を見せます。可愛い仕草で早く帽子をかぶらせてもらいたくて集まったり、自分の靴を見つけて来てきたり、片足を上げて靴を「はかせて」とか、足ふみをして保育士を急かせてきます。

そして、小さな手でボールを転がして、よちよちと追いかけたり、枯葉を拾っては「見つけたよ」とアピールしたり、宝物として大切そうに持ち歩いたりしています。

保育室では、保育士の歌や踊りを真似して、歌ったり踊ったり、リズムに合わせて太鼓を叩いてクラスが一体となって、楽しさ、嬉しさを体全体を使って表現しています。

進級に向けても、安全な環境の中で一人ひとりの思いや欲求を受け入れ、保育士との愛着関係を深めて、安心して自分の思いを全身を使って表現していけるよう支援していきます。



～自分の思い、いっぱい育む～ 赤組

【1歳児 16人】担任:奥崎 副担任:山崎

「人や周りの物への興味や好奇心を育み、思い思いに行動できる」よう「自分の思いを、いっぱい育む」保育を行って来ました。保育士は、安全な環境を整え、子どもとの愛着関係の下で、子どもたちが、いつでも安心して、ありのままの自分の思いや感情が出せたり、行動できるよう、声をかけ過ぎたり、行動を規制することを避け、スキンシップをとりながら、子どもたちの欲求をしっかりと受け止め、思いを満たせる関わりをしています。

散歩などでは、子どもたちが自由に行きたい所へ探索できるよう安全に配慮し、野菜や花の水やり、土遊びなど興味のあることを一緒にして行きました。その中で、子どもたちは、主体的に「どんぐり!」「はっぱあった!」と知らせたり、野菜に水やりをしたいと言ってきたり、やりたいことを自分なりの方法で伝えることができるようになりました。

クラス内でも、他児の名前を呼んだり、手をつないだり、玩具と一緒に遊んだり、他児とのかわりも増えています。

進級に向けても、子どもたち一人ひとりの欲求を受け止め、思いに寄り添い、「自分が!」や

「自分で!」という気持ちの育ちを製作活動などとおして支援していきます。



【3歳児 19人】担任:松本 副担任:倉留

～したい やりたい やってみる～ 黄組

「一人ひとりが楽しみながら個性を発揮し、何にでも好奇心を持って取り組む」を目指して支援してきました。

まず、子どもたちが自分を知り「自分が好き」という思いを育むために、一人ひとりの「できる」や「優しい」などの長所に目を向け積極的に褒めています。そして、子どもたちに「良い所が知りたいな」と問いかけることで、自分の良い所に気付き、他児の良い所を見付けることによって、自他の違いを知り、互いの個性を認め合うことを進めてきています。

これにより、生活発表会では運動会のときと比べて、練習のときから劇「三匹のこぶた」や合唱、合奏を誰もが自分の得意や好きなことを見付け、仲間を認め合い一緒に力を合わせてやり遂げる楽しさをさ知り、達成感を醸成しました。

4月の進級に向けては、自他を認め合うことを大切に、一人ひとりの知的な好奇心を伸ばしていくよう子どもたちの小さな「気付き、なぜ、なに」を尊重して、みんなで考え、ともに楽しく学んでいく雰囲気を作って、「したい」「やりたい」「やってみる」ことを創作作品展での製作活動などとおして応援していきます。



～みんなつながり、思い広がる～ 青組

【4歳児 21人】担任:蒲生 副担任:乃美

新しいことに挑戦する子ども、自分で考えて行動する子どもの姿を目指して、日々の保育の中で「こんなことをしてみたい」という気持ちに寄り添い様々な経験とおして興味や関心を広げたり、試行錯誤させ、成功体験を積み重ねることで自信につなげるように支援をしてきました。

生活発表会に向けては、子どもたちを主体に自分たちで考え、話し合い、一つひとつ決めていく作業を行いました。

劇の「ヨーホー! たからさがし」では、物語を0からみんなで話し合っ決めて決める中で、イメージが広がって、宝物は最終的に4つになってしまいました。また、4つのグループに分かれての練習や製作をおして、積極的に参加し、一つの劇に仕上げることで、一人ひとりの自信につながり、宝物の「ともだち」とのきずなが強く太くなりました。

4月からの年長クラスへの進級に向けては、これまでの保育活動で身に付いた自信とクラスみんなとの「きずな」をもとに、一人ひとりの個性を大切に創作作品展での共同製作などを活用して無限の可能性を引き出すように活動していきます。



～明るく、伸び伸び、自分らしく～

【桃組 2歳児 16人】担任:栗林 副担任:森戸

「自分の思いを表現できる」子どもとなるよう、身近なことに興味を持って様々なことに挑戦したり、伸び伸びと元気に体を動かしたり、たくさん経験を通して感性が育まれる保育を行って来ました。

子どもたちは誰もが個性豊かに「好きなこと」「嫌いなこと」、「したいこと」「したくないこと」をはっきり言葉や行動で表現できるようになり、毎日がとても賑やかなクラスになってきています。

みんなが一番「好きなこと」は外で遊ぶこと。園舎の屋上や散歩に行くときには、自分で赤白帽子をかぶり、靴を履く準備をします。絵本も大好きで絵本の読み聞かせでは静かに座ってお話を聞くことができます。

また、自分の思いを言葉で伝えることも上手になってきました。手伝いが要るときは「できない。やって。」と言ったり、みんなと遊びたいときには「〇〇して遊ぼう。」など、保育士や子ども同士の会話もどんどん増えてきました。

散歩で拾ったどんぐりで「これはなに?」「大きい」などと気付いたことを他児と話し合ったり、触れた時の感触や形の違いに気付いたり、何ごとにも興味を膨らませています。

さらに、食事や衣服の着脱などの自立が進んできています。

黄組への進級に向けては、子どもたちの日々の小さな気付きを大切に受け止めて、一人ひとりが個性豊かに自分らしく成長していけるよう支援していきます。



【5歳児 20人】担任:今田 副担任:相原

～思いやり、助け合い、行動する～ 白組

「仲間を思いやり、目標に向かい、挑戦、協力し、やり遂げられる」子どもを目指して、運動会や発表会などに向けて、「思いやり、助け合い、行動する」ことで仲間との信頼感や連帯感、達成感を育むことにつなげてきました。

生活発表会では、劇の「桃太郎」では、まずストーリーをどうするか、誰が何の役をするか、合奏の楽器では誰が何を演奏するかを、子どもたちの話し合いで決めることにすると、これまでの保育園生活での経験や自信を基に、一人ひとりから「鬼さんと仲良くしたい」「こうしたら良いんじゃない」「〇〇くんは踊りが上手いよ」「私は〇〇ができるよ」などみんなで意見を出し合いながら決めることができました。練習では、仲間に教えたり、教えられたり、工夫しながら、世界一つの劇を完成し、演じ切ることができました。

4月からの小学校就学に向けては、自立心とルールを守る社会性、学びの基礎を再確認しながら、小学校で別れ離れになってもクラスの仲間との絆を大切にできるよう卒園製作を協働して進めていきます。

